

株式会社広島情報シンフォニー

〒732-0068 広島市東区牛田新町2-2-1 ☎082-222-8211

<http://www.symphony.co.jp>

会社概要

沿革

設立は昭和63（1988）年4月。第三セクター方式による重度障害者雇用のモデル企業として、広島県、広島市、株式会社中国サンネットの三者の出資でスタートしました。スタート時の社員数は障害者16名を含む40名。

創業以来、ノーマライゼーション理念推進のモデル企業として、障害者の職業的自立という社会的使命に取り組んでいます。



雇用状況

従業員数 128名

うち障害者数 39名

（平成13年4月現在）

事業の概要

大型コンピュータ、パソコンなどのソフトウェア開発、福祉機器の企画・デザイン、入力業務などIT関連を中心に幅広く事業展開をしています。

ソリューションビジネス事業

企業内の問題解決のための情報システムの提案

アウトソーシングビジネス事業

企業の情報システムの構築、運用、データ入力などの代行

ソフトウェアビジネス事業

受託ソフトウェアの開発、技術者によるコンサルティング、パソコン教育までのトータルサポート

ユニバーサルビジネス事業

福祉、介護、医療、通信、レジャーなど生活の場面での、最適な商品の提案

障害者雇用に向けて

取り組み、工夫

広島情報シンフォニーは情報関連事業を主業務としていますが、システム設計、プログラミング、デザイン、ホストマシンの運用、データ入力などコンピューターに向かったの勤務は障害者の活躍する余地が大きいので、営業を除くすべての部門で、障害のある人もない人も人ら区別なく勤務しています。また、そのための社内でのOJT（職場内教育）も積極的に行われています。



社屋内。所狭しとパソコンが並ぶ中、障害者が積極的に業務に携わっています

設備

車イス利用者等の通勤の自立を促進するための、屋根付きの専用駐車スペース設置（14台分）

急病など、非常事態の通報のため

（1）パニックボタンの設置

（2）緊急通報装置（障害者が携帯用発信器を所持し、急病などを警備会社へ通報）

障害者用緊急避難スロープ、休憩室、健康相談室の完備

聴覚障害者用

（1）ランプ表示機能追加専用データエントリーマシン

（2）パトライト点滅による時間表示

障害者雇用を前提として創立した企業なので、館内はすべてバリアフリー。入口から廊下、トイレ、ドアに至るまで徹底されています。100名を想定してつくられた社屋は、創業時の40名から125名に増えた現在では空間的余裕も減りつつありますが、仮眠室や教養室なども仕事場にあて、むしろ業務や雇用は成長を続けつつあります。



ソフトウェアビジネス事業部主任の結城さん。「障害のない人がある人に気を使うと、気の使い方のベクトルがちょっと違うときがよくありますが、当社の上司はそういうのがないですね」とのことでした

自治体システム開発課の迫田さん、会社は「大学や図書館より（バリアフリーという面で）過ごしやすい」とのことです



カウンセリング・勤務制度

産業医による健康診断を月2回行っています。全社員を対象としており、希望者が受けることができます。

生活相談員のカウンセリングを週1回行っています。手話による相談も可能です。

年次有給休暇の取得を1時間単位で認めています。8時間をもって1日としています。



ソフトウェアビジネス事業部主任の坂井さん。黙々と仕事をこなされる姿が印象的でした

Top's Interview

当社は障害者の雇用促進・職業的自立という理念のもと、第三セクター方式で設立した企業です。社名のシンフォニーとは『調和』を意味します。人と人の調和（ノーマライゼーション）、人と情報の調和（トータルインフォメーションサービス）、人と未来の調和（フューチャーネットワーク）。特にノーマライゼーション、人と人の調和が大きな経営理念です。株式会社ですから常に利益をあげねばなりません。障害者の雇用と経営という二つの要素のバランスを高レベルで実現することが当社の使命と考えています。



代表取締役社長
鈴木 克治さん



総務部 取締役部長 瀬田 敏成さん

瀬田さんは取締役として、また総務部長として、広島県・広島市との窓口および総務・経理を担当しています。「バブル崩壊の影響などで、一時は厳しい決算もありましたが、ソフトウェア開発事業体制の充実により、98年度からは黒字決算を続けています。官公庁からの受注が比較的多いですが、優先発注を受けているわけではなく、すべて入札で受注しています。障害のある人もない人も関係なく戦力として活躍していただいています。社員には『広島情報シンフォニーは株式会社』であることを徹底しています」

企画部 取締役部長 森 隆男さん

森さんは自動車メーカーで働いていた23歳のとき交通事故に遭い、現在は車イスを使用されています。35歳で広島情報シンフォニーに入社、平成12（2000）年5月、現在の地位に昇進されました。「部下にはもちろん障害のある人もない人もいます。僕はどちらの立場もわかる分、自分にも他人（障害者）にも厳しいかもしれませんね」。障害者のトップを切って昇進されています。



自治体システム開発課長 清水 康明さん

清水さんの部署は文字通り広島県庁や広島市役所、外郭団体などに向けて情報処理システムを開発、導入しています。「8名の課員のうち3名が障害者ですが、あまり関係ないですね。システム開発は、個人の能力（コンピュータ技術、業務知識等）によるところが大きい職種だと思います。個人の能力を見極めて引き出すことができれば、自然と業績も上がるし、障害者の自立も進むと思います」



ユースウェア推進課長 河野 能成さん

河野さんの部署では障害者は何人いらっしゃいますか？と聞いたところ、「およそ15名くらいでしょうか。普段意識してませんので数えたことがないんです」とのご返事。「体調が悪いとか、何か手伝ってほしいなどの要望があれば、それに対してフォローをしています。いつも、気持ちも心も“HOT CARE（ホットケア）”をしているつもりですが、実際は各自の自立を後押しするだけの“ほっとけやーあ（放っておけや）”になっているかもしれませんね（苦笑）。しかしこのやり方を変えるつもりはないとのこと。マシン運用やデータ入力などの忙しい部門を切り盛りされています。

TOPICS

ウェブサイト

「Future Net Service」 <http://www.symphony.co.jp/>

会社概要、製品紹介、採用案内などの情報発信をしています。また、手話教室、バリアフリー情報など高齢者やハンデを持つ人への生活支援情報「福祉情報サロン」を発信しています。

「夢市」 <http://www.yumeichi.ne.jp/>

酒、醤油など、厳選された広島の逸品を全国に通信販売するインターネットショッピングモールを運営しています。